

第六回 帝國議會衆議院

船員保險法中改正法律案委員會議錄(速記)第五回

付託議案

船員保險法中改正法律案(政府提出)
(第一號)

現役青年學校職員俸給費國庫補助法
案(政府提出 貴族院送付) (第二號)

昭和二十年一月二十九日(月曜日)午後
一時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村松 久義君

理事富田愛次郎君 理事仲井間宗一君

清水留三郎君 菅又 薫君

角 猪之助君 高城 憲夫君

花村 四郎君 村岡 俊三君

森谷 新一君 最上 政三君

同日委員角猪之助君辭任ニ付其ノ補缺
トシテ米田吉盛君ヲ議長ニ於テ選定セ

出席政府委員左ノ如シ

厚生省勤務局長 中村敬之進君

厚生省保険局長 伊藤 謙二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船員保險法中改正法律案(政府提出)
○村松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、本委員會ニハ去ル二十七日本會議
ニ於テ、貴族院ヨリ送付サレマシタ議
案、現役青年學校職員俸給費國庫補助
法案ガ併託サレマシタガ、右案ニ對ス
ル審議ハ後日ニ譲リマシテ、是ヨリ船
員保險法中改正法律案ヲ議題ト致シ、
討論ニ付シマス、通告ガアリマス、之
ヲ許シマス——仲井間宗一君

○仲井間委員 私ハ翼賛政治會ヲ代表
シテ、政府ニ對シ海員優遇ニ關スル希
望意見ヲ述べマシテ、本案ニ賛成ノ意

付託議案
船員保險法中改正法律案(政府提出)
(第一號)
現役青年學校職員俸給費國庫補助法
案(政府提出 貴族院送付) (第二號)
昭和二十年一月二十九日(月曜日)午後
一時十九分開議

ヲ表スル次第デアリマス、私ノ政府ニ
對シテ希望スル意見ハ 戰局ノ様相ハ
逐日悽愴苛烈ヲ極メ、今ヤ皇國興廢ノ
關頭ニ立ツ一大決戰ノ段階ニ突入致シ
タノデアリマス、其ノ時、皇軍將兵ノ
善謀力戰ト相俟ツテ、海員諸士ノ海洋
挺身ニ烈々タルモノアルハ、國民ノ齊
シク感銘措ク能ハザル所デアリマス、
船員諸士ハ支那事變以來精銳ナル皇軍
シテ敵前上陸ノ要務ニ從ヒ、或ハ敵襲
雷擊ノ下、遠ク酷寒ノ北溟ニ、灼熱ノ
南海ニ、能ク忍苦缺乏ニ耐ヘツ、
一線ノ作戰補給ニ、或ハ物資輸送戦ニ
邁進シ、身ニ寸鐵ヲ帶ビズ、海上輸送
ノ特攻隊トシテ皇軍將兵ニモ劣ラザル
奮闘ヲシテ參ツタノデアリマス、今ヤ
戰局ハ全ク補給戰デアルト言ツテモ過言
デナイ緊急事態ニ當面シ、船員諸士ニ
課セラレタル任務ハ重且ツ大デアリマ
ス、我等國民ハ是等船員ノ日夜敢鬪ノ
獻身的努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表ス
ルト共ニ、其ノ偉大ナル功績ヲ顯彰
シ、併セテ職運ノ懃、長久ナルヲ祈念
シテ居ル次第デアリマスルガ、政府ニ於
カセラレマシテモ是等船員ニ對シ適切
ナル優遇對策ヲ講ゼラレ、何等後顧ノ
憂ヒナク活躍シ得ルヤウ、又家族竝ニ
遺族等ニ對シマシテモ出征軍人ノソ
レト同様福利、厚生及び援護等必要ナ
ル措置ヲ講セラレルト共ニ、是等船員
諸士ノ後續部隊トシテ青少年諸君ガ戰
局ノ危急ニ敢然蹶起シ、補給戰ヲ勝チ
抜ク態勢ヲ強化セラレルノ施策ニ出ラ
レントヲ期待スル者デアリマス、本

○村松委員長 討論ハ終局致シマ
タ、是ヨリ採決ヲ行ヒマス、原案ニ賛
成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔總賛起立〕
○村松委員長 起立總員、仍テ本案ハ
原案ノ通り可決致シマシタ、本日ハ是
ニテ散會致シマス
午後一時二十四分散會

昭和二十年二月一日印刷

昭和二十年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印 刷 局